本の森へようこそ

ダイバーシティ ブックリスト
～みつめよう、じぶん　ひろげよう、せかい～

1冊の本をきっかけに、世代を超えて
「これ、どう思う？」とリビングや地域で会話が
生まれるきっかけになるブックリスト。
「こうあるべき」という肩の荷をちょっと下ろして、誰もが
自分らしく生きるためのヒントを集めました。

4つの読書体験



いっしょによんで、はなそう

（子ども・大人向け、絵本）



じっくりよんで、みつめよう

（全世代向け、いろんな生き方に出会う本）



とおくをみつめて、ひろげよう



（大人向け、あしたの元気をみつける本）

めくってながめて、かんじよう



（全世代向け、めくってワクワクする本）

常陸大宮市男女共同参画推進会議 委員 推薦

いっしょによんで、はなそう（子ども・大人向け、絵本）



No.	書籍名 著者	出版社	請求番号（図書情報館）	紹介コメント
1	**女と男のちがいって?** 作：プランテルグループ 訳：宇野　和美	あかね書房	/300/ｱ/	女はよわい？男はえらい？ 女と男ってなにがちがう？ 体のつくりはちがうけど、女も男も同じ人間だ。いまの社会の「女と男」を考えよう。
2	**みんなおなじ　でも　みんなちがう** 奥井　一満	福音館書店	/E4/ﾄ/	植物や野菜などいろいろな食べ物を見開きで見ることができる本です。これには訳があって、例えばエダマメが見開きにたくさん並べられていますが、同じエダマメでも見た目がちょっとずつ違うのに気がつきます。家族でそれぞれの違いを見つけながら楽しく読める本だと思います。 そして、それはエダマメだけではなく、人間もそうなんだよ、ということも教えてくれます。
3	**発明家になった女の子マッティ** 作：エミリー・アーノルド・マッカリー 訳：宮坂　宏美	光村教育図書	/E2/ﾏ/	空前の発明ブーム、でも女性には活躍の場が全くなかった時代のアメリカのお話。そんな時代にプロの発明家として、２２の特許を取得、９０を超えた独創的な発明を行った主人公マッティ。いろいろな偏見にあいながらも粘り強くやり通したマッティ。女性に希望を与えてくれる本。
4	**あおくんときいろちゃん** 作：レオ・レオーニ 訳：藤田　圭雄	至光社	/EA/ﾚ/	絵の具で描かれた青や黄色のまるが生き生きと動き回り、絵本ならではの夢と感動をもたらしてくれる。作者が孫にせがまれて作った人間味あふれる絵本。この本はもう古典といわれているようですが、青と黄色が重なってまったく違った緑になるというテーマが人と人との心の融和を暗示するものとして、アメリカではおとなたちの間でも好評だそうです。
5	**もうじきたべられるぼく** はせがわ　ゆうじ	中央公論新社	/E6/ﾊ/	生きることの尊さや親子の絆が描かれています。読み終えた後も余韻が残り、命について改めて考えるきっかけを与えてくれる一冊です。
6	**わたしのおそろい** 菊田　まりこ	白泉社	/E1/ｷ/	「本当の仲間って何だろう？」って悩んでる人や人間関係に疲れてしまった時に読んで欲しい本です。もちろん、これから友人関係が深まっていく小学生たちにもお勧めです。私は孫たちに読ませました。
7	**いろいろ　いろんな　かぞくのほん** 作：メアリ・ホフマン 訳：杉本　詠美	少年写真新聞社	/E9/ｱ/	家族構成や、住んでいるところ、仕事や休日の過ごし方など、それぞれの違った“家族のかたち”を分かりやすく教えてくれる本になっています。 文章も聞き取りやすいため、読み聞かせにもおすすめです。 中学の教科書にも掲載されているようです。

とおくをみつめて、ひろげよう（大人向け、あしたの元気をみつける本）

No.	書籍名 著者	出版社	請求番号（図書情報館）	紹介コメント
1	**そして、バトンは渡された** 瀬尾　まいこ	文藝春秋	/F/ｾｵ/	2019年に本屋大賞を受賞し、2021年10月には映画化もされた小説です。 自分と当て嵌めながら「家族」や「幸せ」など考えさせられる、深い言葉もあり、「親子関係はこうあるべき」「父そして母はこうあるべき」といった概念を考え直すことができる一冊だと思います。
2	**ペコロスの母に会いに行く** 岡野　雄一	西日本新聞社	/916/ｵ/	漫画とエッセイで綴られた本で読みやすいと思います。
3	**見えない学力が身につく　勉強よりもお手伝い** 条井　優子	セルバ出版	/379.9/ｸ/	本書は、社会の最小単位である家庭から、誰もが助け合い感謝し合い、自己価値を感じられる世界を作っていくことの大切さを教えてくれます。
4	**おかえり。5ねんぶりの生協の白石さん** 白石　昌則 	ポプラ社	/049/ｼ/	「ひとことカード」を通して学生からの問いや相談に、粋に答えるやり取りが話題になった生協の白石さん。５年ぶりの続刊は、その後社会人になった方からの相談にも答えています。月曜日の朝の通勤の辛さには「気持ちだけでも月曜日は、ツキのある曜日と信じております。」掲示板に張り出されたどんな相談にも温かく向き合う、ウイットに富んだ白石さんの言葉が沁みるのです。いつの時代も、クスッとさせられたりジーンときたりする、そんな優しい世界に癒されます。
5	**本当にやる!できる!必ずやる!アイスランドの「女性の休日」** 作：リンダ・オウラヴスドッティル 訳：朱位 昌併	ゆぎ書房	/E3/ﾘ/	1975年、アイスランドでは、女性たちが仕事や家事を一斉に休み、男女平等を訴える「女性の休日」が行われました。本書は、その歴史的な出来事を子どもにも分かりやすく描いた絵本です。社会を支えている女性たちが声を上げ、仲間と力を合わせて行動したことで、社会は少しずつ変わっていきました。「本当にやる、できる、必ずやる」という言葉から、性別に関わらず、自分らしく生きられる社会をつくるために行動する勇気をもらえる一冊です。男女共同参画について考えるきっかけとして、ぜひ多くの方に読んでいただきたい本です。

じっくりよんで、みつめよう（全世代向け、いろんな生き方に出会う本）

No.	書籍名 著者	出版社	請求番号（図書情報館）	紹介コメント
1	**ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー** ブレイディみかこ 	新潮社	/376/ﾌﾞ/	本屋大賞、八重洲本大賞など11冠を達成した、ノンフィクション・エッセイ本です。 この本のテーマである「多様性」については、現実の問題としてより身近に感じることができると思います。 なかでも、著者であるブレイディみかこさんの言葉で、「多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う」 この言葉には、私自身ハッとさせられました。他にも自分はどうだろう？と、自問自答できる言葉がちりばめられているので、新たな気付きを得られると思います。
2	**男子が10代のうちに考えておきたいこと** 田中　俊之	岩波新書	Y/159/ｲ/	男性学の研究者が、若者たちにむけて書いた本。進路や将来の選択に、自分らしさを生かすための、どうしたらよいのかを指南。男子高生に語りかけるように書かれた箇所もあるが、女子高学生にもおすすめ。

めくってながめて、かんじよう（全世代向け、めくってワクワクする本）

No.	書籍名 著者	出版社	請求番号（図書情報館）	紹介コメント
1	**マップス 新・世界図絵** アレキサンドラ・ミジェリンスカ ダニエル・ミジェリンスキ	徳間書店児童書編集部	/290/ﾐ/	世界の42か国の名物・名所がぎゅっとつまった地図絵本。国ごとに、人口、面積、国旗と現地のことばで書いた国名をのせ、食べもの、有名な人物や建物などを、たくさんのイラストで紹介します。
2	**でんしゃでいこう でんしゃでかえろう** 間瀬　なおかた 	ひさかたチャイルド	/E5/ﾏ/	しかけ絵本というと、いろいろな面白さが詰まっているものですが、この本は「そういうことか！」と思わず声があがることまちがいなし。電車から覗く景色に懐かしさをおぼえたり、お客さんの過ごし方もそれぞれに面白みがあったり。いつの間にか一緒に旅している気分にもなります。さあ、旅の始まりです！！